

News Release

2020年11月11日

株式会社日立ハイテク

高い操作性と安定性を両立させた高速液体クロマトグラフの エントリーモデル「Primaide」を発売

株式会社日立ハイテクサイエンス(取締役社長:伊東 祐博／以下、日立ハイテクサイエンス)は、シンプルな操作性と高い安定性を両立させた高速液体クロマトグラフ(High Performance Liquid Chromatograph／以下、HPLC)の新製品「Primaide(プライメイド)」を、このたび日本国内向けに販売開始いたします。



【高速液体クロマトグラフ「Primaide」】

医薬、食品、化学、環境などの幅広い分野における研究開発や品質管理などの現場では、対象の物質に含まれる成分がどのような化合物なのか、またどれくらいの濃度や量なのかを高い精度で分析することが求められています。HPLCは、液体に溶解可能な物質の組成や含有量を高精度に測定できる分析装置で、大学や企業の研究施設などで数多く使用されています。そのような状況において、初めて利用する方や、品質管理の現場などで日常的な定型作業による分析を行う利用者向けに、より操作が簡単で、安定した運転を実現できる装置への需要が高まっています。

このたび発売する新製品「Primaide」は、こうした利用者の需要に対応し、国やそれに準ずる機関が定めた公定試験法に基づく分析から、利用者が独自に実施する定型的な分析までを、簡単な操作で行えるエントリーモデルで、食品、化学、大学などの幅広い分野における利用を見込んでいます。

新製品「Primaide」の主な特長は、以下のとおりです。

1. 分析作業を支えるシンプルな操作性

50年以上にわたるHPLCシステムの開発・製造を通して、蓄積してきた経験をもとに設計されたPrimaideは、高い信頼性と高精度な分析を支える基本的な性能を備えております。また、分析カラム^{*1}の取り換えや液漏れチェックを行う際の操作性や、ランプ交換を行う際の簡単なメンテナンスを、装置の前面から行えるフロントアクセスレイアウトを採用したことによって、利用者の使いやすさを実現しています。

2. 一連の操作とメンテナンスをサポートするソフトウェア

使用するソフトウェアには、装置の立ち上げから分析・解析・メンテナンスまで分析フロー全体の操作をサポートするガイダンス機能を充実させ、それぞれの分析作業において容易な操作性を実現した「ChromAssist Data Station」を採用しています。分析時の性能を記録・確認できる分析ログ一覧機能により、分析カラムの劣化や感度低下などを判断でき、日常的にシステムの性能評価が可能です。また、消耗品の使用状況・交換目安時期を把握できる管理機能やメンテナンス動画、トラブル事例をまとめたトラブルシューティングの掲載などにより、メンテナンスやトラブル対応の時間を軽減し、トータル分析業務の効率化を実現します。

日立ハイテクサイエンスは、幅広い分野における研究・開発、品質管理業務を支え、人々の健康で安全・安心な暮らしに貢献していきます。今後も、日立ハイテクグループは、「分析技術」をベースにバイオ・メディカル分野、安心・安全分野などでお客様の先端ニーズをいち早く捉え、専用市場に特化したソリューション創出とワールドワイドでの事業拡大をめざし、個別化・高度化するお客様の課題にフォーカスした装置を開発・提供してまいります。

*1 分析カラム:試料内の成分を分離するための管で、HPLC システムの中で最も重要な部品。管の中にはシリカゲルやポリマーなどの充填剤や、毛管など管内壁に保持されたものが使用される。

■「Primaide」に関するウェブサイト

https://www.hitachi-hightech.com/hhs/product_detail/?pn=ana-primaide

■お問い合わせ先

株式会社日立ハイテクサイエンス 営業本部 LC 営業部 [担当:菅野]

〒105-6411 東京都港区虎ノ門一丁目 17 番 1 号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー

電話:080-6753-6638(直通)

■報道機関お問い合わせ先

株式会社日立ハイテク CSR 本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部 [担当:西川]

〒105-6409 東京都港区虎ノ門一丁目 17 番 1 号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー

電話:080-9207-5949(直通)

以上